

研究者 (7) 生物工学科



微生物工学講座

講師

おく なお や
奥 直 也

(1974生)

農学博士

(東京大学・平14)

■経 歴

東京大学農学部水産学科卒 (平 9.3) / 東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生命科学専攻博士課程修了 (平 14.3) / 東京大学農学特定研究員 (平 14.4 ~ 14.5) / 米国国立がん研究所客員研究員 (平 14.5 ~ 17.5) / 株式会社海洋バイオテクノロジー研究所研究員 (平 17.5 ~ 19.3) / サッポロビール株式会社嘱託社員 (平 19.4 ~ 20.2) / (独)理化学研究所協力研究員 (平 20.3 ~ 21.9) / 富山県立大学工学部助教 (平 21.10 ~ 27.3) / 同大学講師 (平 27.4 ~)

担当科目 地域産業論 / 生体高分子化学 / 技術英語 2 / 微生物工学

専門分野 天然物化学

論文・報告

「Studies on metabolites that induce morphological changes in 3Y1 rat fibroblasts from marine invertebrates (海洋無脊椎動物由来の 3Y1 ラット繊維芽細胞に形態変化を誘導する物質に関する研究)」(学位論文)

「4-Hydroxy-3-methyl-2(1H)-quinolone, originally discovered from a Brassicaceae plant, produced by a soil bacterium of the genus *Burkholderia* sp. Determination of a preferred tautomer and antioxidant activity」(*Beilstein J. Org. Chem.* 2020)

「Bulbimidazoles A-C, Antimicrobial and Cytotoxic Alkanoyl Imidazoles from a Marine Gammaproteobacterium *Microbulbifer* Species」(*J. Nat. Prod.* 2020)

「Isolation, Structural Elucidation, and Absolute Stereochemistry of Enigmazole A, a Cytotoxic Phosphomacrolide from the Papua New Guinea Marine Sponge *Cinachyrella enigmatica*」(*J. Am. Chem. Soc.* 2010) など論文・総説・報告 43 編 特許 3 件

特 許

「新規エンジン化合物」(特開 2003 - 238584 号)

「骨吸収抑制剤」(特開 2010 - 260827 号)

「モノアシルグリセロール、抗菌剤、及びモノアシルグリセロールの製造方法」(特許 6754030 号)

所属学会

日本ケミカルバイオロジー学会(平 20.5 ~) / 日本農芸化学会(平 23.3 ~) / 日本放線菌学会(平 24.6 ~) / マリンバイオテクノロジー学会(平 29.4 ~)

現在の研究課題

1. 医農薬、機能性食品・香料成分、生化学試薬の開発に役立つ新規物質の探索
新たな医農薬、機能性食品・香料成分、生化学試薬の開発に向けて、特に未調査の生物種に着目し、新規生物活性物質を探索する。
2. 個体間作用物質の同定と産業への応用研究
生態系では様々な種内および種間作用物質が生物個体の行動や生存に影響を与えているが、これらはフェロモン製剤のように生態毒性のない害虫防除法として農業などに活用できるものが多い。そこで幾つかの特徴的な生物現象に着目して種間・種内作用物質の化学的本体を解明するとともに、それらの産業利用の可能性を探っていく。

共同研究キーワード

微生物 / 生物活性物質 / クロマトグラフィー / NMR/MS